

## 平成 29 年度 社会福祉法人マキバの会 事業報告

はじめに

社会福祉法人制度改制が施行になり、当法人本部も新体制が組まれてから一年が経過しました。評議員選任・解任委員と評議員が加わり、それに則して役員体制が生まれ、新定款や評議員が取り決めた規約に沿って本部においては順調に運営がなされました。

しかし、グループホームにおいては、スタッフ不足に加えて、利用者は重度化していて手のかかる状態となり、そのこともあって定員に満たない受け入れの運営を余儀なくされました。それでも感染症罹患やけがもなく、自然な老化以外、利用者にとって比較的穏やかに過ごせたという印象の一年でした。

年間計画の通り、29年度に計画した理事会、評議員会、会計監査、運営推進会議、外部評価、勉強会、消防訓練、各会議等々の予定を全部熟し、特にいわて保険福祉支援研究会による外部評価では良い評価を受け、日々の業務の励みとなりました。

施設整備では、廃棄処分とした大型の車イス対応車に変えて、軽の車イス対応車を購入しました。建物では、朽ちていたベランダの全面改修や、経年劣化による床の軋み、ドア、襖の修理などを行い使い勝手がよくなりました。更に念願であったスタッフ専用のシャワールームを設け、エアコンも整備、蒸し暑い夏を快適に過ごすことができました。

3月の理事会では、マキバの会解散についてたくさんのご意見を頂戴しました。今後は、法人がより良い形に変化していくようになればと考えて、29年度の総括とします。

### 法人本部

#### 評議員選任解任委員

委員（定員 3 現員 3 :任期 H29 年 2 月 7～H32 年定時評議委員会）

平成 29 年 3 月 6 日委員会開催

及川慎治 藤原功 藤原泉
--------------

評議員（定員 4 現員 4 :任期 H29 年 6 月 27～H32 年定時評議員会）

平成 29 年 6 月 27 日評議員会開催

審議事項 ・ 理事選出 ・ 役員報酬規程作成

森萩満 中村栄孝 小野寺武男 児玉正彦
---------------------

## 役員

理事 (定員 6 現員 6 : 任期 H29 年 6 月 27~H31 年定時評議員会)

理事長	坂本嘉津子
理事	藤澤昇 藤原輝夫 高橋典成 須藤世志子 藤原泉

## 理事会開催状況

回	年月日	出席者数	審議事項
84 回	6 月 8 日	5 監事 2	・ 平成 28 年度事業報告 (案) の承認について ・ 平成 29 年度決算報告 (案) の承認について ・ 定款細則 (案) について ・ 評議員会開催について
85 回	6 月 27 日	6 監事 2	・ 理事長の選任について
86 回	11 月 28 日	5 監事 2	・ 法改正に伴う関連規定の制度の承認について
87 回	3 月 23 日	5 監事 2	・ 平成 29 年度予算の科目補正について ・ 平成 30 年度事業計画 (案) について ・ 平成 30 年度予算 (案) について ・ 社会福祉法人マキバの会解散の検討について

監査 (定員 2 現員 2 : 任期 H29 年 6 月 27~H31 年定時評議員会)

監事	高橋善紀 藤原功
----	----------

## 監査開催状況

決算監査	5 月 19 日実施
出納調査	10 月 20 日実施

## 施設運営

## 第二種社会福祉事業

### 1 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

開設 平成12年4月1日

定員 9名

29年度は、スタッフの人数（人員基準）に合わせて利用者の受け入れを制限した。

利用状況

要介護度\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要支援												
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4
要介護4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護5	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0
合計	9	9	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7

### 2 共用型通所介護（デイサービス）

開設 平成18年4月1日

定員 3名 年間を通して利用者なし。

介護度\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要支援												
要介護1												
要介護2												
要介護3												
要介護4												
要介護5												
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 運営推進会議

運営推進会議は利用者、家族、近隣の方々がメンバーとなっている。会議を利用してお楽しみ会や行事を取り入れているため、大勢で楽しむことが出来ている。また、利用者の利用状況を報告する機会としている。

委員	北村運一 高橋夕美子 佐々木淳子 吉田信夫 田中勲 施設利用者 家族 健康福祉課 施設長 職員1名
----	--

## 開催状況

年月日	出席者数	審議内容
4月26日	10 利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況の報告</li> <li>・29年度施設整備について</li> <li>・年間の行事予定</li> <li>・意見交換</li> </ul>
6月28日	20 利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西和賀消防署員立ち合い避難訓練</li> <li>・火災についての講話(西柚賀消防署)</li> </ul>
8月30日	9 利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況の報告</li> <li>・災害時の避難について</li> <li>・意見交換</li> </ul>
10月13日	18 利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の演芸会</li> </ul>
12月20日	10 利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況報告</li> <li>・意見交換</li> </ul>
3月6日	9 利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況報告</li> <li>・経過報告と意見交換</li> </ul>

## 研修

### 施設内研修（勉強会）

4月16日	認知症の薬について
5月17日	夜間想定避難訓練
6月16日	介護福祉士会、GH協会の研修報告
7月15日	感染症についての検証報告 ケアプランについて
9月15日	災害時持ち出し物品の確認
10月14日	自分を知る、自己覚知テスト
12月15日	クリスマス会について、宅配弁当について
1月16日	インフルエンザ、ノロウイルス感染予防について
2月17日	身体拘束について
3月14日	日中避難訓練 ケアプランについて

### 施設外研修

研修出席者は施設にもち返り、再研修をして振り返りをしている。

5月26日	グループホーム協会定例会
6月16日	沢内病院「感染症について」
7月24日	GH協会合同研修会「自然災害における防災対策」

8月4日	第1回地域ケア個別会議「介護ロボットについて」
9月25日	GH協会合同研修会「VRを使って認知症を体感する」
10月7日	第2回地域ケア個別会議「他職種連携なぜ必要か」
2月9日	社会福祉法人制度改革対応セミナー
3月15日	第3回地域ケア個別会議「事例検討会」

### 避難訓練

個別に夜間初期消火、通報などを想定した訓練を行った。夜勤者一人で行いそれぞれに緊張感をもった。会議で振り返りをして、共通の認識をした。

5月21日	個別夜間訓練
5月22日	個別夜間訓練
5月25日	個別夜間訓練
5月29日	個別夜間訓練
6月28日	消防署立ち合い総合訓練
9月25日	避難訓練

### 外部評価

11月30日、NPO法人 いわたの保険福祉支援研究会より、外部評価を受けた。

・事業所がアピールしたい点として、

「本人と家族が寄り添える関係を取り戻し、在宅復帰に向けた取り組みをしていく。」

・評価機関からの総評として、

「全職員が日々の申し送りやスタッフ会議を通じて、「自然な笑顔を創り出し、最後まで変わらぬ暮らし」とする理念を心に刻みながら、「利用者家族にとって必要なサービスやケアが提供できているか」を常に振り返りながらケアに取り組んでいる。職員一丸となった終末期・看取りへの親身な対応によって、家族から大きな信頼を得ている。日々の利用者本位を追及する中、職員と馴染みの関係、支え合いの関係がしっかりと築かれ、利用者は安全で安心、明るく楽しく、穏やかな生活を送っている。今後は、利用者の状態や環境等を見極めながら、在宅復帰を目指し、利用者との繋がりも深めながら、職員の介護技術の向上に努めることとしている。」

以上